

## 沿革

### ▼大学のあゆみ

#### 1953 中部社会事業短期大学開学

社会事業従事者の養成を目的に開学（名古屋市昭和区）。全国から集まった学生は83人、教員6人のささやかなスタートでした。



学園創立者 鈴木 修学（1902～1962）

昭和の初め、ハンセン病療養施設の運営改善に従事したことを契機に社会事業実践を開始。困窮する人々の救済に身を投じる社会事業従事者の不足を憂え、中部社会事業短期大学を開設しました。

#### 夜間部を増設 保育者養成をスタート

保母（現在の保育士）養成課程を開設しました。

#### 1957 日本福祉大学に発展 社会福祉学部開設

高度経済成長期を迎えて高まる社会福祉実践者へのニーズに応えるため、日本で最初の4年制の社会福祉学部を誕生させました。



#### 伊勢湾台風における救助活動



死者・行方不明者5000人もの被害をもたらした伊勢湾台風。学生・教職員はいち早く被災者救援活動に立ち上がりました。

#### 女子短期大学部保育科を開設 （～1996年）

#### 大学院開設

#### 経済学部を開設

「福祉を理解する経済人の養成」をめざして発足。より幅広い分野に福祉力を送り出す取り組みが始まりました。

#### 美浜キャンパス開設

美浜町の全面協力のもと、バリアフリーや環境配慮の行き届いた広大なキャンパスが完成、総合移転しました。



### ▼図書館のあゆみ

#### 1953 附属図書館発足

初代館長は鈴木修学学長が兼務



1953

1954

1957

#### 日本福祉大学附属図書館に発展

1959

伊勢湾台風により1,600冊が浸水被害



1961

1965

図書館「慈昭館」竣工開館  
一般公開開始

1969



1976

1983

新附属図書館（現在の美浜本館）開館  
「慈昭館」の名を継承

1986

第1回紙芝居コンクールを  
図書館主催で開催

加太こうじ先生を審査員長として1994年まで続けました。



1989

図書館増築部分開館  
AVホール完成

▼大学のあゆみ

阪神・淡路大震災における救援活動

1月17日早朝に発生した大震災に、延べ300人を超える学生が救援ボランティアに取り組みました。

半田キャンパス開設

半田市との公私協力方式により誕生。情報社会科学部を開設しました。



通信教育部を開設



名古屋キャンパス開設

健康科学部  
子ども発達学部  
国際福祉開発学部を開設

情報社会科学部を発展改組して健康科学部を半田キャンパスに、また子ども発達学部・国際福祉開発学部を美浜キャンパスに開設しました。

東日本大震災における救援活動

3月11日の震災直後から対策本部を設置して募金活動などを開始。災害ボランティアセンターを開設し、ボランティア派遣をスタートさせました。

創立60周年

東海キャンパス開設

看護学部を開設

スポーツ科学部を開設

子ども発達学部を  
教育・心理学部に名称変更

創立70周年

国際福祉開発学部を  
国際学部に変更

工学部を開設

▼図書館のあゆみ

半田分館開館  
同時に一般公開



1997

図書館ホームページ開設

2001

2002

地域の中学校の職場体験学習受入開始

2003

名古屋分館開館



2008

美浜本館に電動書架増設

2010

美浜町図書館と附属図書館とで相互協力に関する協定を締結  
地域の高校生への施設開放を開始 (美浜本館)

2011

2013



創立60周年記念事業の一環として

美浜本館リニューアルオープン  
ラーニングcommons開設  
Silent. Quiet. Active ゾーン分け

2014

2015

東海分館開館  
同時に一般公開

東海市図書コーナー  
等で東海市と連携開始



2017

2020

2022

図書館ホームページに  
「学習支援ポータル」開設

2023

2024

2025